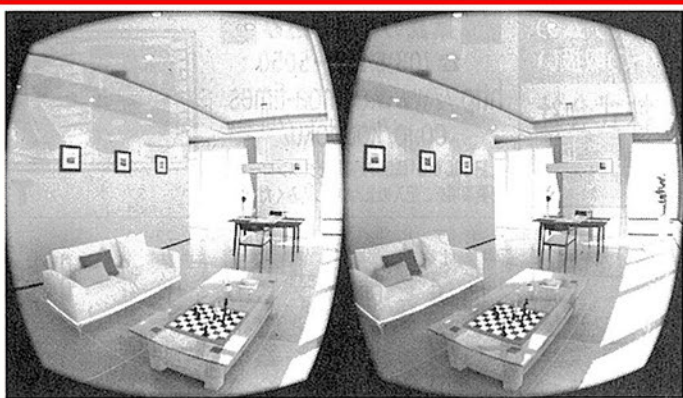


### シリコンスタジオが「3D&バーチャリアリティ展」に出展

シリコンスタジオは、展示のメインは、同社が6月22日から24日に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される「第24回3D&バーチャリアリティ展」に出展する。術に関する展示も行う。



VR技術デモのスクリーンショット

### HDR & VR、最新3DCG技術デモ

「Museum」のVR版及び、3DCGを用いたインタラクティブコンテ

ンツやARの制作に強みのあるキヤドセンター(東京都千代田区、清水宏一社長)と連携して開発したバーチャルモデルームのVR技術デモを展示する。バーチャルモデルームのデモには、壁紙を変えたり、ドアや床の質感を変えたり、ソファなど家具の一部をリアルタイムに変更できる機能が実装されている。EIZOのHDRモニタ試作機を使用する。SDR(Standard Dynamic Range)モニタを横に並べて展示するので、HDRとSDRの違いを実際に目で見て確認できる。HDR方式はNHKとBBC(英国放送協会)が協同で推進しているHybrid Log Gamma(HLG)を採用している。

ブース・東1-3

### 北大と日立製作所が北海道が直面する社会課題解決に向け「日立北大ラボ」を開設

北海道大学と日立製作所は、「日立北大ラボ」を、北海道大学内に6月1日に開設したと発表した。「日立北大ラボ」では、北海道が直面している少子高齢化や人口減少、地域経済の低迷、地球温暖化などの社会課題解決に向けた共同研究を推進する。

日本は、北海道が直面している少子高齢化や人口減少、地域経済の低迷、地球温暖化などの社会課題解決に向けた共同研究を推進する。北海道大学と日立製作所は、北海道大学内に6月1日に開設したと発表した。「日立北大ラボ」では、北海道が直面している少子高齢化や人口減少、地域経済の低迷、地球温暖化などの社会課題解決に向けた共同研究を推進する。

現在、日本政府は、経済や社会の変革に対応し、新たな価値を創出し、豊かな暮らしをもたらさる「超スマート社会」を推進する。

### 自動運転・ロボット技術の進歩と電波政策

#### 北陸総通局が電波有効利用促進セミナー

北陸総合通信局(吉武久局長)は、平成28年6月7日、金沢市内の金沢東急ホテルにおいて、北陸情報通信協議会(会長・久和進北陸経済連合会会長)との共催により、「電波有効利用促進セミナー」を開催し、約90名が参加した。



渡辺克也電波部長



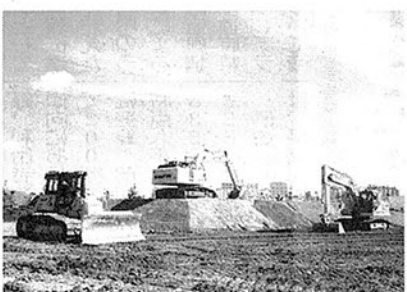
セミナーの様子



金沢大学の自律型自動運転自動車

最新動向について紹介した。

ICT建機が活躍する工場現場



次に、金沢大学理工学系菅沼直樹准教授が、

「超スマート社会」の早期実現に向けて国内外の取組、ロボット(ドローン等)の電波利用の高度化に向けた取組、性能化、高精度地図の活用等により、自動運転技術の完成度は9割に達していること等、公道での実証試験の動向を交えて分かりやすく解説した。

### NTTドコモ、エリクソンと5Gの実現に向け

#### ネットワークスライシング技術の実証実験に成功

NTTドコモとエリクソンは、第5世代移動通信システム(5G)の実現に向け、ユーザーが利用するサービスに合わせた効率的なネットワークスライシング技術の実証実験を行った。

6月9日、複数の異なるサービスをそれぞれのネットワークスライシング技術に合わせた効率的なネットワークスライシング技術に成功したと発表

### 情報通信設備協会 懇親パーティを開催

#### 懇親パーティを開催

一般社団法人情報通信設備協会(ITCA)は、6月9日、第62回定時総会修了後、懇親パーティを東京都港区のメルパルク東京で開催した。



挨拶する大木会長

同実験は、サービスの要求条件に基づき自律的に最適なネットワークスライシングを選択または作成する機能を新たに追加することで、複数の異なるサービスを最適なネットワークスライシングを通じて提供することに成功した。ドコモは、ネットワークスライシングを

は作成する機能の設計を行い、エリクソンはエリクソンのクラウド製品を用いてネットワークスライシングのサービスを管理する基盤を実装したものである。

懇親パーティは、ICT活用が欠かせない。厳しい競争の中、新しいビジネスチャンスが生まれている。長年地域の皆様とともに安心と信頼のサービスを提供することをモットーとしてきた当協会は、これらの変化をチャンスと捉えて取り組みたい。新技術に対応した優秀な人材の育成、魅力のある会社となること、他社との協力など積極的にチャレンジしていきたいと挨拶した。